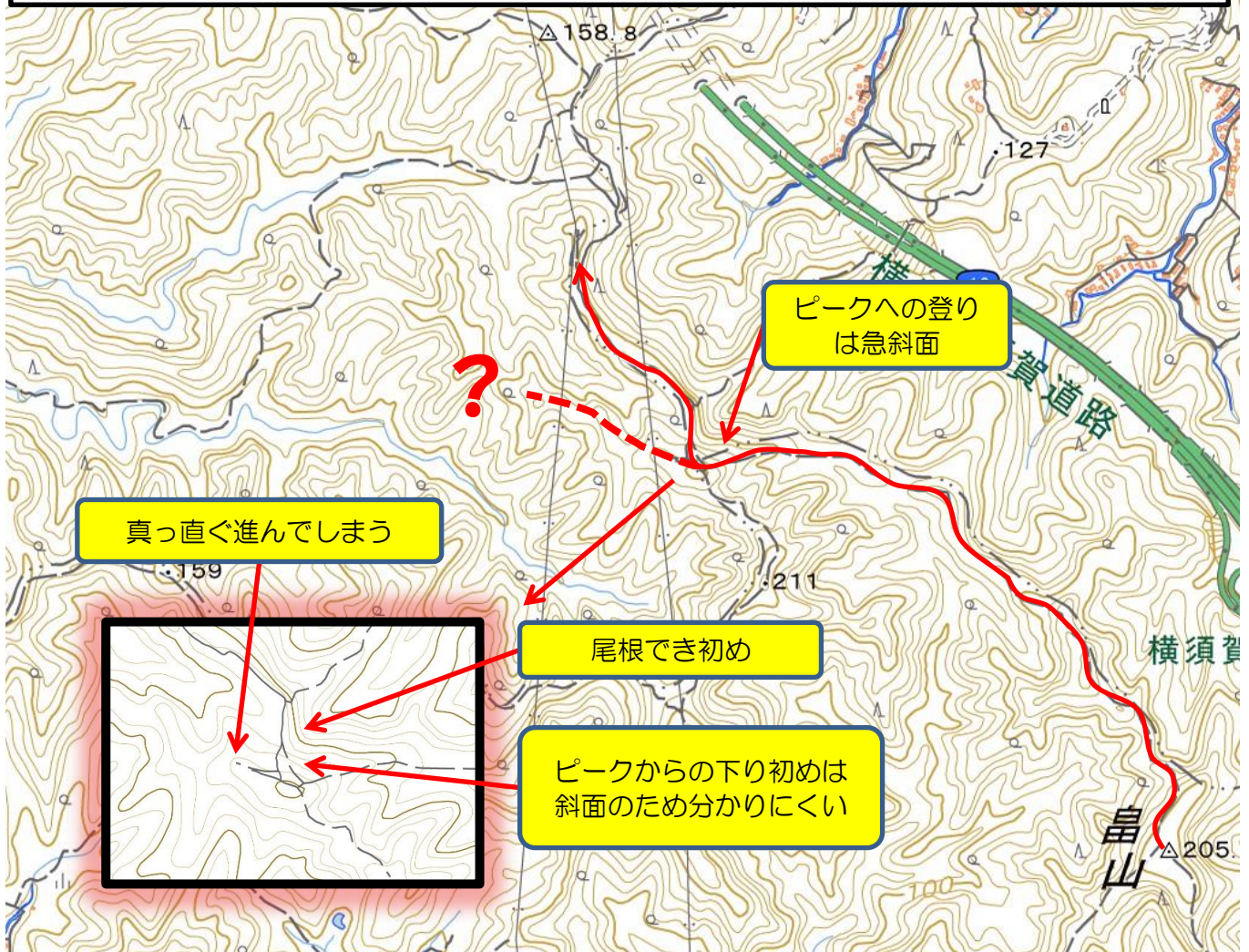


## 畠山道迷い(2023年2月)

畠山から北上し乳頭山付近で違う尾根に道迷い。来た道に戻り登山を再開させた。



## 解説

道迷いの典型的なパターン。

- ①尾根を登ってきてピークを過ぎて真っ直ぐ進んでしまう。(道が曲がれない)
- ②下り初めが斜面になっていて、斜面を下った先に尾根がある。
- ③いくつかのピークを越えてきて右に曲がるピークをロストした。

対策として、特徴物の「先読み」は

- ①道を曲がるピークは手前が急斜面のピーク
- ②南西からの尾根との分岐
- ③ピークからコンパスで進む方向を確認する

里山の道は間違えやすい。先日、会の中で読図講習会を行った。特徴物を確認し、コンパスで進行方向を確かめながら進む内容だった。コンパスは難しく使えないのではなく、正しく教えてもらっていないだけだと思う。なぜなら、コンパスを初めて使った会員も昼までには、コンパスの使い方をマスターし、昼からは手際よく使っていたからだ。国立登山研修所のHPIにコンパスの使い方が動画で掲載されている。ぜひ、内容を確認してほしい。